

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年10月15日
【四半期会計期間】	第14期第2四半期（自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日）
【会社名】	株式会社ジェイグループホールディングス
【英訳名】	j -Group Holdings Corp.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 新田 二郎
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄三丁目4番28号
【電話番号】	(052) 243 - 0026 (代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部部長 村井 克至
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄三丁目4番28号
【電話番号】	(052) 243 - 0026 (代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部部長 村井 克至
【縦覧に供する場所】	株式会社ジェイグループホールディングス東京支店 (東京都港区西麻布一丁目8番12号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第13期 第2四半期連結 累計期間	第14期 第2四半期連結 累計期間	第13期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	5,532,491	6,701,406	11,419,622
経常利益又は経常損失 () (千円)	3,252	52,990	31,992
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失 () (千円)	14,925	6,969	139,126
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	27,757	11,977	159,527
純資産額 (千円)	2,182,179	2,037,837	2,030,418
総資産額 (千円)	8,285,566	8,854,768	7,706,114
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期(当期)純損失金額 (円)	2.09	0.87	18.40
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	0.87	-
自己資本比率 (%)	26.3	23.0	26.3
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	492,256	799,821	706,295
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	486,716	749,627	1,113,931
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	710,149	240,947	689,723
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,081,636	939,241	648,107

回次	第13期 第2四半期連結 会計期間	第14期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 6月1日 至平成26年 8月31日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	0.26	2.33

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高に消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、第13期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、また、第13期は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。従いまして、第13期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額又は四半期(当期)純損失金額を算定しております。

2【事業の内容】

当社グループは、当社（株）ジェイグループホールディングス）及び連結子会社（株）ジェイプロジェクト、（株）ジェイブライダル、（株）ジェイメディックス、（株）ジェイトレード、（株）ディアジェイ、（株）ジェイキャスト、（株）ジェイエイト、（株）SARU、（株）ジェイグループインターナショナル、サンクスマインド（株）、NEW FIELD HONOLULU, INC.）の計12社及び持分法適用関連会社（株）ローズネット販売、（株）志摩ローズファーム）の2社から構成されており、居酒屋、カフェ、レストランなどの飲食事業を中心に、結婚式の企画運営を行うブライダル事業、不動産の賃貸及び管理業務等を行う不動産事業、広告代理業や食品等の卸売業等のその他の事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間における、各事業セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、概ね次のとおりであります。

(1) 飲食事業

当第2四半期連結累計期間より、サンクスマインド株式会社が新たに提出会社の連結子会社となりました。

(2) ブライダル事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

(3) 不動産事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

(4) その他の事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済政策から株価回復が持続し、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方で、原材料価格の上昇や4月以降の消費税増税による個人消費への影響など、先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、低価格チェーンが苦戦するなど業態の選別が進んでおります。また、景気回復に伴い人手不足の傾向が強まっており、人件費の高騰が懸念されるなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、中長期計画の達成を目指して新規出店に注力し、11店舗を新規出店、5店舗をリニューアルオープンいたしました。平成26年3月には、居酒屋を中心とした飲食事業を展開するサンクスマインド株式会社を連結子会社化し、6店舗を取得いたしました。これらにより、平成26年8月末日現在の業態数及び店舗数は、53業態125店舗（国内124店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,701百万円（前年同期比21.1%増）、営業利益は63百万円（前年同期は営業損失39百万円）、経常利益は52百万円（前年同期比16.3倍）、四半期純利益は6百万円（前年同期は四半期純損失14百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

飲食事業

新規出店に注力するとともに、サンクスマインド株式会社の連結子会社化により6店舗を取得いたしました。

新規出店におきましては、平成26年3月に、「舌一（タンピン）」（愛知県豊田市）及び「88 huituit（ユイトユイト）ららぽーとTOKYO-BAY」（千葉県船橋市）、4月に、「猿Cafe（サルカフェ）愛知学院大学名城公園キャンパス店」（名古屋市北区）、「88 huituit 名駅店」（名古屋市中村区）、「The Oyster Bar Kobe（ザオイスターバーコウベ）」（神戸市中央区）及び「The Oyster Bar Shizuoka（ザオイスターバーシズオカ）」（静岡市葵区）、5月に、初のビアガーデン運営となる「静岡パルシェビアガーデン」（静岡市葵区）の出店に加え、「猿Cafe町田マルイ店」（東京都町田市）、「爽鶏屋（そうどりや）名駅三丁目」（名古屋市中村区）、「二六丸（ニロクマル）名駅店」（名古屋市中村区）、7月には、1年間期間限定の物産展型居酒屋「鹿児島うまかもん市場」（名古屋市中村区）をオープンいたしました。

また、既存店におきましては、「ガチ韓Lucent（ガチカンルーセント）」（名古屋市中村区）を「伊助（イスケ）」、「88 huituit 泥江町店」（名古屋市中村区）を「tantan（タンタン）」、「庵GURA（アグラ）金山店」（名古屋市中村区）を「爽鶏屋金山店」としてリニューアルオープンするなど、5店舗を改装いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は6,056百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は311百万円（同113.6%増）となりました。

プライダル事業

「LUCENT Mariage Tower（ルーセントマリアージュタワー）」が堅調に推移いたしました。また、「LA ETERNITA（ラ・エテルニータ）」について、下半期以降の挙式獲得に向け、平成26年8月下旬から9月上旬にかけて改装に着手いたしました。その結果、プライダル事業における売上高は446百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は24百万円（同0.9%減）となりました。

不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS（ジーセブン）刈谷」などの賃貸収入に加え、グループ会社間の賃貸収入が堅調に推移いたしました。その結果、不動産事業における売上高は842百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は77百万円（同12.9%増）となりました。

その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は402百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は24百万円（同13.1%増）となりました。

(2) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,854百万円（前連結会計年度末比1,148百万円増加）となり、負債は6,816百万円（同1,141百万円増加）、純資産は2,037百万円（同7百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で492百万円増加し1,813百万円となりました。これは、現金及び預金が291百万円、売掛金が142百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ658百万円増加し7,033百万円となりました。これは、新規出店やリニューアル等の設備投資によって、有形固定資産が493百万円増加、差入保証金が136百万円増加したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、株式交付費の減少を主因に、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し7百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ879百万円増加し3,013百万円となりました。これは、買掛金が347百万円、1年内返済予定の長期借入金が198百万円、未払金が253百万円それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ261百万円増加し3,803百万円となりました。これは、長期借入金が285百万円増加し、社債が23百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し2,037百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が5百万円増加し、新株予約権を3百万円計上したことなどが主な要因であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが799百万円（前年同期比62.5%増）の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが749百万円（同54.0%増）の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが240百万円（同66.1%減）の資金増となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は939百万円となり、前連結会計年度末の648百万円に比べ291百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は799百万円（前年同期比62.5%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を52百万円、非資金項目である減価償却費を409百万円計上し、仕入債務の増加額が331百万円あったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は749百万円（前年同期比54.0%増）となりました。これは主に、新規出店やリニューアル等に伴う有形固定資産の取得による支出が714百万円、差入保証金の差入による支出が46百万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は240百万円（前年同期比66.1%減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が810百万円あり、長期借入金の返済による支出が511百万円あったことなどによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,196,400	8,196,400	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	8,196,400	8,196,400	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成26年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年6月1日～ 平成26年8月31日	-	8,196,400	-	1,068,969	-	998,969

(6)【大株主の状況】

平成26年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(有)ニューフィールド	名古屋市中区千代田4丁目1-23	2,022,000	24.67
サントリーピア&スピリッツ(株)	東京都港区台場2丁目3-3	300,000	3.66
松永 圭司	愛知県北名古屋市	215,000	2.62
安田 博	愛知県愛西市	206,000	2.51
新田 二郎	名古屋市中区	200,000	2.44
林 芳郎	名古屋市東区	192,000	2.34
二村 篤志	名古屋市中区	146,000	1.78
林 裕二	東京都墨田区	144,400	1.76
新田 浩雅	京都市右京区	120,800	1.47
生井 嘉幸	愛知県愛知郡東郷町	120,000	1.46
計	-	3,666,200	44.73

(注)上記のほか、自己株式が200,000株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式 (自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式 (その他)	-	-	-
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 200,000	-	-
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,996,100	79,961	-
単元未満株式	普通株式 300	-	-
発行済株式総数	8,196,400	-	-
総株主の議決権	-	79,961	-

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社ジェイ グループホール ディングス	名古屋市中区栄 三丁目4番28号	200,000	-	200,000	2.44
計	-	200,000	-	200,000	2.44

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,393	999,533
売掛金	267,947	410,521
商品及び製品	4,882	229
原材料及び貯蔵品	75,322	89,560
その他	281,327	329,176
貸倒引当金	16,126	15,254
流動資産合計	1,321,747	1,813,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,004,053	3,253,720
土地	1,428,664	1,428,664
その他(純額)	522,857	766,339
有形固定資産合計	4,955,575	5,448,724
無形固定資産	31,764	58,410
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,230
差入保証金	1,147,130	1,283,879
その他	250,751	256,159
貸倒引当金	17,776	21,574
投資その他の資産合計	1,388,325	1,526,694
固定資産合計	6,375,666	7,033,829
繰延資産		
株式交付費	5,136	3,995
社債発行費	3,564	3,175
繰延資産合計	8,701	7,171
資産合計	7,706,114	8,854,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	264,746	611,935
1年内返済予定の長期借入金	818,402	1,017,344
1年内償還予定の社債	46,000	46,000
未払金	637,855	891,489
未払法人税等	50,645	46,393
賞与引当金	-	9,631
その他	316,355	390,456
流動負債合計	2,134,004	3,013,250
固定負債		
社債	184,000	161,000
長期借入金	3,012,886	3,298,370
資産除去債務	60,637	65,284
その他	284,168	279,026
固定負債合計	3,541,691	3,803,680
負債合計	5,675,696	6,816,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	64,781	63,754
自己株式	76,000	76,000
株主資本合計	2,056,719	2,055,692
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26,300	21,292
その他の包括利益累計額合計	26,300	21,292
新株予約権	-	3,438
純資産合計	2,030,418	2,037,837
負債純資産合計	7,706,114	8,854,768

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	5,532,491	6,701,406
売上原価	1,698,003	2,027,578
売上総利益	3,834,488	4,673,827
販売費及び一般管理費	3,874,230	4,610,719
営業利益又は営業損失()	39,741	63,108
営業外収益		
受取利息	1,020	720
協賛金収入	47,137	31,351
設備賃貸料	2,011	2,875
為替差益	16,537	-
その他	12,883	6,206
営業外収益合計	79,591	41,154
営業外費用		
支払利息	31,429	32,926
為替差損	-	6,189
その他	5,168	12,156
営業外費用合計	36,597	51,271
経常利益	3,252	52,990
特別損失		
店舗閉鎖損失	8,299	918
特別損失合計	8,299	918
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	5,047	52,072
法人税等	9,878	45,103
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	14,925	6,969
四半期純利益又は四半期純損失()	14,925	6,969

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	14,925	6,969
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,831	5,007
その他の包括利益合計	12,831	5,007
四半期包括利益	27,757	11,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,757	11,977

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	5,047	52,072
減価償却費	348,912	409,024
のれん償却額	589	4,305
賞与引当金の増減額(は減少)	-	21,139
受取利息及び受取配当金	1,020	720
支払利息	31,429	32,926
売上債権の増減額(は増加)	48,398	136,201
たな卸資産の増減額(は増加)	7,727	2,844
仕入債務の増減額(は減少)	165,792	331,141
その他	51,118	213,084
小計	535,648	881,648
利息及び配当金の受取額	1,020	720
利息の支払額	31,746	32,031
法人税等の支払額	12,665	50,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,256	799,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	420,239	714,281
無形固定資産の取得による支出	552	3,395
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5,446	2,4186
差入保証金の回収による収入	26,269	12,172
差入保証金の差入による支出	88,098	46,734
貸付けによる支出	-	3,950
その他	9,541	2,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	486,716	749,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	33,280	698
長期借入れによる収入	630,000	810,000
長期借入金の返済による支出	441,466	511,641
リース債務の返済による支出	21,852	29,154
株式の発行による収入	599,875	-
社債の償還による支出	-	23,000
新株予約権の発行による収入	-	3,438
株式の発行による支出	6,849	-
配当金の支払額	16,277	7,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	710,149	240,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	115	8
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	715,805	291,133
現金及び現金同等物の期首残高	365,830	648,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,081,636	1,939,241

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、サンクスマインド株式会社を株式の取得により新たに連結の範囲に含めておりません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
給与手当	1,558,110千円	1,758,317千円
賞与引当金繰入額	-	9,631

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
現金及び預金勘定	1,141,916千円	999,533千円
預入期間が3か月を超える定期預金	60,280	60,292
現金及び現金同等物	1,081,636	939,241

2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産および負債の主な内訳

当第2四半期連結累計期間において、株式の取得によりサンクスマインド株式会社を連結子会社化したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳、並びに新規連結子会社株式の取得による収入との関係は次のとおりであります。

サンクスマインド株式会社	(平成26年3月1日現在)
流動資産	46,306千円
固定資産	182,502
のれん	36,737
流動負債	58,656
固定負債	206,889
現金及び現金同等物	4,186
連結範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による収入	4,186

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	16,277	500	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月9日 取締役会	普通株式	20,491	500	平成25年8月31日	平成25年10月31日	利益剰余金

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年6月25日付で、公募による新株式発行の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金が269,587千円、資本準備金が269,587千円増加し、また新株予約権の行使により当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,068,969千円、資本準備金が998,969千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	7,996	1	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

(注) 当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年10月10日 取締役会	普通株式	7,996	1	平成26年8月31日	平成26年10月31日	利益剰余金

(注) 当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,803,264	451,580	97,088	5,351,933	180,558	5,532,491	-	5,532,491
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	44,780	-	666,923	711,704	249,282	960,986	960,986	-
計	4,848,044	451,580	764,012	6,063,637	429,840	6,493,478	960,986	5,532,491
セグメント利益又は損失()	145,946	24,245	68,401	238,593	21,397	259,991	299,733	39,741

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 299,733千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「飲食事業」セグメントにおいて、株式会社SARUの全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん1,831千円が発生しました。なお、当該事象は、当第2四半期連結累計期間において、発生益として営業外収益に計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,006,193	446,925	98,670	6,551,788	149,617	6,701,406	-	6,701,406
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	50,733	-	744,276	795,010	252,571	1,047,581	1,047,581	-
計	6,056,926	446,925	842,947	7,346,799	402,188	7,748,987	1,047,581	6,701,406
セグメント利益	311,794	24,030	77,232	413,056	24,207	437,264	374,156	63,108

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 374,156千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」セグメントにおいて、サンクスマインド株式会社の全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象により発生したのれんの金額は、当第2四半期連結累計期間においては、36,737千円であります。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結累計期間

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 サンクスマインド株式会社
事業の内容 飲食店の経営 他

(2) 企業結合を行った主な理由

飲食事業及び弁当事業の取得により、飲食事業の規模の拡大と間接業務の一体的運用による効率化を図り、飲食事業の競争力を一層高めるため、子会社化いたしました。

(3) 企業結合日

平成26年3月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

結合後の企業名称に変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率	0%
企業結合日に追加取得した議決権比率	100%
取得後の議決権比率	100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

飲食事業における既存店の立地特性及び間接業務の一体的運用による効率化が可能であるなど、総合的に勘案した結果であります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した企業の業績の期間

平成26年3月1日から平成26年8月31日まで

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

36,737千円

なお、のれんは、取得原価の配分が完了していないため暫定的に算定された金額です。

(2) 発生原因

取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	2円9銭	0円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	14,925	6,969
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	14,925	6,969
普通株式の期中平均株式数(株)	7,133,791	7,996,400
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	0円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	19,573
(うち新株予約権)	-	(19,573)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 1. 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第14期(平成26年3月1日から平成27年2月28日まで)中間配当について、平成26年10月10日開催の取締役会において、平成26年8月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の金額	7,996千円
1株当たりの金額	1円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成26年10月31日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月15日

株式会社ジェイグループホールディングス
取締役会 御 中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 中嶋 康博 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 市原 順二 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジェイグループホールディングスの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジェイグループホールディングス及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。